

名著が PDF で復活！

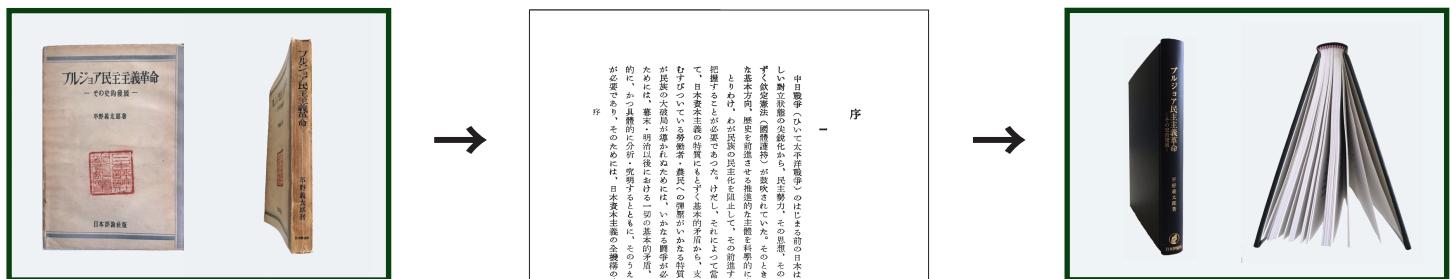
<https://www.nippyo-archives.jp/>

日評アーカイブズ

日本評論社 100 周年記念事業

現在入手困難な日本評論社の本を、20 件の「予約」が集まったものについて、電子書籍(PDF版)とオンデマンド印刷本(POD版:ハードカバー)として復刊します。

そのクオリティは、ぜひウェブサイトでお確かめください！



仕組みを教えてください！

日評アーカイブズで予約・購入できるのは、
・PDF データのみ
・PDF データ+POD（ハードカバーの印刷本）
のどちらかです。

メリットは何？

「手元に置いておきたいけれど、場所がない！」
「参照したいけれど、図書館が遠い」
「自分でデータ化するのには気が引ける」
「入手困難な本を、きれいな状態で読みたい」

どうすれば読みますか？

ダウンロードした PDF データは、パソコン、タブレット端末、スマートフォンなどでご覧いただけます。

日評アーカイブズの PDF は、目次から当該ページへのリンクが設定された PDF です(全ページが画像で、検索はできません)。

POD 版については、購入してから約 1 か月でお手元にお届けします。

予約・購入の方法は？

ウェブサイトに会員登録をしてください。
名前とメールアドレス、パスワードを決めて登録するだけ。かんたんです！

■ほしい本が「復刊候補」の場合
→「予約」しましょう！
20 件の予約が集まったら復刊が決定します！

■ほしい本が「復刊済み」の場合
→すぐに購入・ダウンロードできます！

※著作権等の問題により、予約数が集まても復刊できない場合があります。購入に予約は必須ではありません。

こちらもご注目ください！

みなさまからの声



「葬ったはずの亡靈が再びよみがえってこようとしている」。
350 年前にベッカリーが嘆いた現象が、
現代日本に再現されようとしている。
…治安維持法や統制法令、国家総動員法がどうして成立し、
どのような運命をたどったかを知ることは、
現代日本がたどりうとしている道の先にあるものを知ることでもあろう。

——村井 敏邦（大阪学院大学教授・一橋大学名誉教授・弁護士）

全ての戦争は、終われば「戦後」になるが、
「戦後憲法」がそうであるように、

1945 年までの戦争を拒絶の対象にした「戦後」が、
いわば固有名詞のように今も輝く。

この「戦後」を「レジーム」と呼んで蔑むとき、
その「脱却」先に「戦前」の復位があることは、周知のとおりだろう。
…気が付けば戦火の中にいた、ということのないようにするためにも、
「日評アーカイブズ」に期待するところは大きい。

——森 英樹（名古屋大学名誉教授）



…それらを手にすると、
これを世に出そうと考えた当時の著者の信念と
それを裏で支えた編集者の気概が今も生き生きと伝わってくる。
自らの立ち位置をいとも簡単に決めてしまいがちな
今だからこそ、これまで入手しにくかった名著を
自分の書棚に架してその奥深さに学べることを喜びたい。

——中舎 寛樹（明治大学教授）

現代に生きる我々は「忙しさ」にまけ
耳を傾けることをしばしば忘がちであるが、
『時代を牽引した学問の声』は朽ちることのない力を持っている。
…「遠方の朋」を募って復刊出来るという
現代的なアイデアも斬新な魅力だ。
…我々の社会の抱える問題は今日ますます深刻であるが、
そのただ中にあってこのアーカイブズの誕生は『救いの希望』だ。

——長岡 亮介（明治大学特任教授）



写真：河野裕昭

時空を越えて、古今東西の書籍が一堂に会する
空想の巨大図書館が現実のものとなり、
自由に閲覧できるようになってほしいというのは、
本を読む者の永遠の夢です。
日本評論社の 1918 年から 1952 年までの書籍目録を参照すると
およそ 3000 点もの書籍が並び、どれもおもしろそうで、
書名を眺めるだけでも心がはずみます。

——高瀬 正仁（九州大学教授）



現在を考え将来を展望するとき、歴史的事実を振り返るだけでなく、
それぞれの時代に先人が何を考えたか、
どんな知恵を絞っていたのかを知っておくことが大事である。
…未来志向の古典学習の教材として
おおいに役立つものと期待している。

——飯室 勝彦（元・東京新聞・中日新聞論説主幹）



株式会社 日本評論社
170-8474 東京都豊島区南大塚 3-12-4
TEL : 03-3987-8611 (代)
<http://www.nippyo.co.jp/>

日評アーカイブズ
<https://www.nippyo-archives.jp/>
nippyo-archives@nippyo.co.jp



日本評論社100周年記念事業

「日評アーカイブズ」 立ち上げにあたって

弊社は、1918 (大正 7) 年創業以来、
さまざまな社会的環境の変化の中で、
創業にあたっての精神を引き継ぎ、
2018 年に創業 100 周年を迎えるこ
とになりました。大正デモクラシー
期に産声を上げた弊社は、社会科学
の分野を中心として、人文科学、歴史
学、自然科学に至るまで多種多様な
書籍、雑誌を刊行してまいりました。

ご存じのように、戦前の日本は大
日本帝国、天皇を主権者とする国家
体制でした。国民は「臣民」であり、
表現の自由は「法律」により制限さ
れておりました。例えばそれは
1925 年に施行された治安維持法の
条文、この法による自由の制限、弾
圧が行われたことをみても、明らか
なことです。

このような中で、弊社は 1938 (昭
和 13) 年から 1943 年にかけての河
合栄治郎事件、1942 年から 1945 年
にかけての横浜事件と、戦前を代表
する二つの言論弾圧事件の試練にも
見舞われました。弊社が表現の自由、
言論の自由を堅持する出版社との評
価を得ていることもこうした経緯に
よるものといえます。

ひるがえって、弊社が 100 周年を
迎えようとする時代、出版社として
の弊社の社会的使命は、表現の自由
の場として、時代にその立ち位置を
明確にするとともに、弊社とともに
歩んできたさまざまな方によって創
り出された出版物、その知的財産を
改めて現在に復刻させること、とり
わけ知的財産の再生の意味は大き
いと考えております。

100 周年は弊社の単なる節目では
なく、社会と切り結び、立ち位置を
明確にしつつ出版社の社会的使命を
果たすための機会として捉えており
ます。「日評アーカイブズ」は、その
最初の一歩として多くの方々の期待
に応え、スタートいたします。